

令和6年度 事業所自己評価結果の公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表：令和7年3月28日 / アンケート期間：令和7年2月17日～令和7年2月28日 / 回答者数（児童数）19名

チェック項目			はい	どちらとも いえない	いいえ
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17	2	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	16	3	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18	1	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18	1	

チェック項目			はい	どちらとも いえない	いいえ
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17	2	
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17	2	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18	1	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	10	8	1

チェック項目			はい	どちらとも いえない	いいえ
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	4	1
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	17	2	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17	2	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17	2	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	14	4	1
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	4	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	19		
	22	個人情報の取り扱いに十分注意されていると思いますか。	17	2	

チェック項目			はい	どちらとも いえない	いいえ
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18	1	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18	1	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18	1	
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16	3	

チェック項目			はい	どちらとも いえない	いいえ
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	18	1	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	17	2	
	29	事業所の支援に満足していますか。	18	1	

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

令和6年度 事業所自己評価結果の公表

事業所における自己評価結果および改善内容・改善目標

公表: 令和7年3月28日 / 回答者数(職員数) 8名

チェック項目			はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	職員の配置人数は適切である。	7	1	・声が響くため、2グループに分かれた活動を行う際は、互いに影響が出にくい活動の組み合わせを考えている。 ・子供の特性や活動内容によりスペースを仕切りたい場合はパーテーションを使い環境を作る工夫をしている。 ・その日の利用児の状態にあわせてスタッフが個別につく時間を設ける、トランポリンなどで体を動かせるスペースを設けるなど、臨機応変な対応をしている。 ・日々の清掃や環境整備は、スタッフが声を掛け合い、気付いたら伝えるなど行なっている。 ・発達に合わせたグループ分けし、活動によって場所を変更したりパーテーションを使って広さを調整している。	・保育室が広く伸び伸びと活動が行える利点もあるが、子どもの特性や活動内容などにより小さな空間が必要な場面での対応に工夫が必要である。 ・トイレのドアを開けると子どもとスタッフ2人きりの密室になる場面があるので、対応策を検討したい。 ・窓が開けられないため、衛生、健康管理の点からも空気清浄機、加湿器等の設置が必要である。 ・職員が少ない時間帯に安全に過ごせるよう部屋の仕切り方や家具の配置など、動線の作り方に工夫が必要である。 ・体調不良のお子さんのスペースを確保しにくい。 ・子ども達にわかりやすい室内の構造化はすぐにでも必要だと感じている。特に自由遊びや活動の合間がわかりやすくしたい。 ・児童が集中して遊べるように個室を作ったり、遊びが保障できるような環境作りをスタッフ全員で周知していく。
	2	日々の活動や支援のためのスペースは利用定員に対して十分に確保されている。	7	1		
	3	保育・生活空間は、本人にわかりやすく構造化しているなど子どもたちの特性に合わせた環境になっている。	5	4		
	4	保育・生活空間は、清潔で心地よく過ごせる環境になっている。また、子どもたちの活動に合わせた空間になっている。	7	1		
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画できている。	3	5	・初年度のため、これから取り組む部分が多い。 ・細かい話になりますが、ホワイトボードに個別対応などの注意点をまとめて記載してくださるといった対応がありがたいです。 ・職員会議時に話す機会を設けている。 ・常勤会議など、話し合う時間などを決めているがなかなか実行できていない。	・月に一度の職員会議内であるがアイデアや改善策をもっと日々の活動の中で実現活用していく。 ・非常勤スタッフは皆で話をする時間が限られるため、週に1回は振り返りをする時間をとると良い。 ・休憩や残業を減らすために安全に考慮し、できる時に事務作業をやるようにしていく。
	6	職員の資質の向上を行うために、研修を行なっている。	6	2		
	7	保護者向け自己評価表により保護者の意向等を、また事業所自己評価表により職員の意見等を把握する機会を設けており、それらの内容を業務改善に繋げている。	4	4		

チェック項目			はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	8	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	7	1	・活動プログラムにバリエーションをもたせ飽きないように工夫すると同時に、活動のねらいを職員間で共有して取り組んでいる。 ・計画に適した支援を個々に対応している。 ・子どものことで気付いたことで、伝える時間がない時は、メモに残して必ず伝えるようにしている。	・個別支援計画を全職員で共有し、アセスメントやモニタリングをより幅広い視野で行い、一人一人に合った支援を日々ブラッシュアップする。 ・非常勤スタッフも含めて振り返りをする時間を設けられると良い。 ・声かけの多さや二重指示など関わり方を見直していく。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画が作成されている。	7	1		
	10	個別支援計画には児童発達支援ガイドラインの「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の観点から、支援に必要な項目が適切に設定され、その上で具体的な支援内容が設定されている。	6	2		
	11	個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われている。	5	3		
	12	活動プログラムの立案をチームで行っている。	7	1		
	13	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	6	2		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる活動プログラムや個別支援計画に反映している。	7	1		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している。	8			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	5	3		
	17	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	8			
関係機関や保護者との連携	18	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、見直しを行なっている。	6	2	・送迎時に保護者の様子や困り感をキャッチし、職員間で共有している。 ・保護者の意向があれば会議開催などにより情報交換、共有している ・保護者の要望により他事業所との連携を行い、活動の参観、支援方法などを共有している。	・他事業所との連携を密にし、共有事項を全職員で共有して、児童が混乱しないよう共有したアプローチや支援を検討する機会を設ける。 ・職員と保護者とのフィードバックをスタッフ全体に周知する。 ・他事業所への見学ができるとよい。
	19	地域の母子保健や子ども・子育て支援等の関係機関(区役所等)と連携した支援を行っている。	8			
	20	保育所や幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との併行利用や移行に向けた支援を行っている。また、その際、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	8			
	21	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	5	3		
	22	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所等と連携し、支援に活かしている。	8			
	23	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、健康面や発達の状況、課題について共通理解を持っている。	8			

チェック項目			はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明等	24	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	8		・降園時のフィードバックを丁寧に行い、活動の目的やねらい、支援方法などをわかりやすく伝えている。	・役所や児童発達センターとの連携を強化して、より正確で有意義な情報提供ができる体制をつくる。
	25	個別支援計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ている。	8			
	26	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている。	8			
	27	保護者会や行事を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設けている。	8			
	28	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している。	6	2		
	29	定期的に活動内容や行事予定、連絡体制等の情報を保護者に対して発信している。	8			
	30	個人情報の取扱いに十分留意している。	8			
	31	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている。	8			

チェック項目			はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	32	防犯対策、安全対策、感染症予防、非常災害時の対応方法についてマニュアルを策定し、職員や保護者等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	8		・利用回数が少ない児童も防災訓練に参加できるよう実施日を配慮している。 ・ヒヤリハット集は児童別に集計し、時間、原因、対策などを明記することにより、分析しやすく改善に繋がるように努力している。	・防災備品や情報収集方法などを整理し、誰でもすぐ対応できるよう整える。 ・室外に避難する訓練をしていないので、緊急避難場所への遠出散歩など活動で行い、実施する。 ・定期的に確認する機会を設けたい。
	33	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っている。	8			
	34	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している。	8			
	35	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている。	8			
	36	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われている。	7	1		
	37	子どもの安全確保に関して、保護者との連携が図られるよう、安全計画に基づく取り組み内容について、保護者等へ周知している。	8			
	38	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している。	8			
	39	虐待防止について職員研修を確保する等、適切な対応をしている。	8			

事業所内での分析	分析結果を踏まえた改善目標の設定
(保護者評価・事業所評価のずれ・共通点の分析) ・「保護者への説明」項目で事業所と保護者の評価にずれが見られる。中でも家族からの申し入れや相談に対する迅速かつ適切な対応については事業所内からもできていない声があり、見直しを要すると思われる。 ・家族支援、きょうだいへの支援は行なったとは言えない状況にあり、結果に現れている。	○改善目標 ・環境体制整備:保育室の構造化、空気清浄機・加湿器の設置、安全計画の確認共有 ・業務改善:PDCAサイクルの全員参画と共有 ・支援の提供:個別支援計画の共有、玩具の提供ルールなど支援フローの共有、保護者からの申し入れや相談への対応フロー整備